

平成 20 年 10 月 31 日

各 位

会 社 名 通商株式会社
代表者名 代表取締役社長 伊東 正純
(コード 7583 大証第2部)
問合せ先 財務・経理部長 石脇 孝一
(TEL. 06-6342-5611)

業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 20 年 8 月 6 日に公表いたしました業績予想と配当金について、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想について

(1)平成 21 年 3 月期第 2 四半期累計期間業績予想数値の修正 (平成 20 年 4 月 1 日～平成 20 年 9 月 30 日)
(単位：百万円，%)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	7,840	49	34	32	5 円 82 銭
今 回 修 正 予 想 (B)	6,177	△15	△25	△39	△7 円 12 銭
増 減 額 (B-A)	△1,663	△64	△59	△71	—
増 減 率 (%)	△21.2	—	—	—	—
(ご参考) 前年中間実績 (平成 19 年 9 月中間期)	8,356	52	△61	△34	△6 円 09 銭

(2)平成 21 年 3 月期通期業績予想数値の修正 (平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日)
(単位：百万円，%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	16,000	131	100	95	16 円 99 銭
今 回 修 正 予 想 (B)	13,200	78	56	40	7 円 26 銭
増 減 額 (B-A)	△2,800	△53	△44	△55	—
増 減 率 (%)	△17.5	△40.4	△44.0	△57.9	—
(ご参考) 前期実績 (平成 20 年 3 月期)	15,921	173	△81	△346	△61 円 87 銭

2. 修正の理由

第2四半期累計期間における当住宅関連業界におきましては、昨年施行された改正建築基準法の影響は薄れてきているものの、サブプライム問題による景気後退に伴い住宅需要は予想以上に低迷、また、建設・不動産関連企業の経営破綻が相次ぎ経営環境は劇的に厳しさが増しております。

このような状況の中、当社は得意先の新規開拓、売上総利益率の改善及び徹底した合理化と効率化に取り組んでまいりましたが住宅需要の低迷により、売上高は当初予想を大幅に下回る見込であります。

営業利益及び経常利益においては、売上高の減少が大きく影響し当初予想を下回る見込であります。

四半期純利益については、繰延税金資産16百万円を取崩したことにより損失が増加する見込みでありますので業績予想を修正するものであります。

第3四半期以降におきましても、当住宅関連業界を取巻く経営環境は依然厳しさが続くものと予想されますが、得意先の新規開拓や売上総利益率の改善など第2四半期に引き続き安定収益確保にむけて取り組んでまいります。尚、利益面におきましては、第2四半期累計期間と比較して改善される見込であります。第2四半期累計期間の業績を勘案し、通期業績予想を修正するものであります。

3. 配当予想の修正

(1) 修正の理由

第2四半期累計業績予想の修正に伴い、当期は1株当たり5円の配当金を予想しておりましたが、今回の業績の修正および通期の業績におきましても当初の計画を下回る見込となったことにより、今後の事業展開と経営体質の強化に備えて内部保留を優先させていただきたく、誠に遺憾ではございますが平成21年3月期の配当予想を無配に修正させて頂きたいと存じます。

(2) 修正の内容

	第2四半期末	期 末	年 間
前回予想（平成20年8月6日）	—	5円00銭	5円00銭
今 回 修 正 予 想	—	0円00銭	0円00銭
（ご参考）前期の1株当たり配当金実績	—	0円00銭	0円00銭

（注）業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予測数値と異なる場合があります。

以 上